

○ 芦生研究林まとめ

①地 理： 暖温帯と冷温帯の境界に位置する。

②植 生： 標高600mまでは常緑広葉樹ウラジロガシなど暖温帯林
それ以上は、ブナやミズナラなど冷温帯林

③南丹の木：ブナ（樺）

④尾根：スギ 中版：ブナ 谷：トチノキ・サワグルミ

=理由は林業の常識とは逆で、積雪の影響を受けるため谷側にスギが少ない。

⑤地球温暖化の進行でウラジロガシやスギの個体数は増え、ブナは減りつつある。

⑥由良川の源流

シカの食害により下層植生がほとんどない。

大規模（13ha）に柵で囲って、植生の回復を試みる。シカ柵のないところと比較して、研究している。

⑦モンドリ柵

網の上側と下側で違う種類の網を利用している。シカに噛み破られないように下側の網にはワイヤーメッシュが使用されている。

※冬の間、シカ柵の網を下げる理由⇒積雪により柵全体が倒れるのを防ぐため

⑧シカ害で下層植生がなくなったことによる影響

土砂災害で土砂が川に流入し、川底に砂が多くなることで魚の種類が変化した。（生態系への影響）

また、ダムにも土砂がたまり、十分な水量が確保できなくなる可能性がある。

※シカが食べない植物・テツカエデ、イワヒメワラビ、オオバアサガラ

⑨ブナ

漢字で木へんに無と書くが、その理由としてどのような説があるか？

⇒倒れたあと分解されやすく、すぐになくなるから。

⑩アシウスギの特徴

積雪により枝が垂れ下がって、地面についたところから、新たに成長＝伏状更新

⑪芦生研究林

昔の暮らしは木材でお椀などを加工して使用していた⇒木地師

⑫芦生研究林のシンボルツリーは？

大カツラ、15種類以上の樹木が生えている。